

## 全国のニホンジカ及びイノシシの生息分布拡大状況調査

## 1. 調査方法

ニホンジカ及びイノシシについて、第6回自然環境保全基礎調査（2003年）並びに都道府県が取りまとめて環境省に報告した狩猟登録及び捕獲許可による捕獲位置情報システムにおいて、平成23（2011）年度までに分布が確認されていない場所を対象として、都道府県、市町村及び森林管理署等へのヒアリング又はアンケートにより、目撃情報（生体、死体）により新たな分布メッシュ数（5倍地域メッシュ：約5km×5km）を把握することにより、生息分布の拡大状況調査を行った。

なお、都道府県より捕獲位置情報システムによる情報に疑義があると申告があった分布域に関しては、平成23（2011）年度の分布域から削除した。また、今回の調査では、平成23（2011）年度までの分布域を基準として、新たな分布域を調査したため、分布域の減少については調査を実施していないが、ほとんどの都道府県でニホンジカ及びイノシシが増加傾向にあることから、分布域の減少は少ないと考えられる。

## 2. 結果

## ①ニホンジカの分布状況とその変化

今回新たに把握した分布メッシュを含めると、全国の総メッシュ数に占めるニホンジカの分布メッシュ数は10,393メッシュとなり、昭和53（1978）年度（分布メッシュ数は4,220メッシュ）から平成26（2014）年度までの36年間で、ニホンジカの生息分布が約2.5倍に拡大していることが示された。

全国の総メッシュ数に占めるニホンジカの分布割合は約6割で、平成23（2011）年度から平成26（2014）年度までに約1.2倍に拡大しており、全国的にニホンジカの分布域の拡大傾向が続いていることが明らかになった。特に北海道・東北地方や北陸地方において生息分布域が急速に拡大していることが示された。

今回調査で新たに把握したニホンジカの生息分布及び過去の生息分布調査結果を合わせた生息分布については、図1のとおり。

## ②イノシシの分布状況とその変化

今回新たに把握した分布メッシュを含めると、全国の総メッシュ数に占めるイノシシの分布メッシュ数は9,005メッシュとなり、昭和53（1978）年度（分布メッシュ数は5,188）から平成26（2014）年度までの36年間で、イノシシの生息分布が約1.7倍に拡大していることが示された。

全国の総メッシュ数に占めるイノシシの分布割合は西日本を中心に5割を超え、平成23（2011）年度から平成26（2014）年度までに577メッシュの増加となり、全国的にイノシシの分布域の拡大傾向が続いていることが明らかになった。特に東北地方や北陸地方において生息分布域を拡大していることが示された。

今回調査で新たに把握したイノシシの生息分布及び過去の生息分布調査結果を合わせた生息分布については、図2のとおり。

図1 ニホンジカ 全国生息分布メッシュ比較図

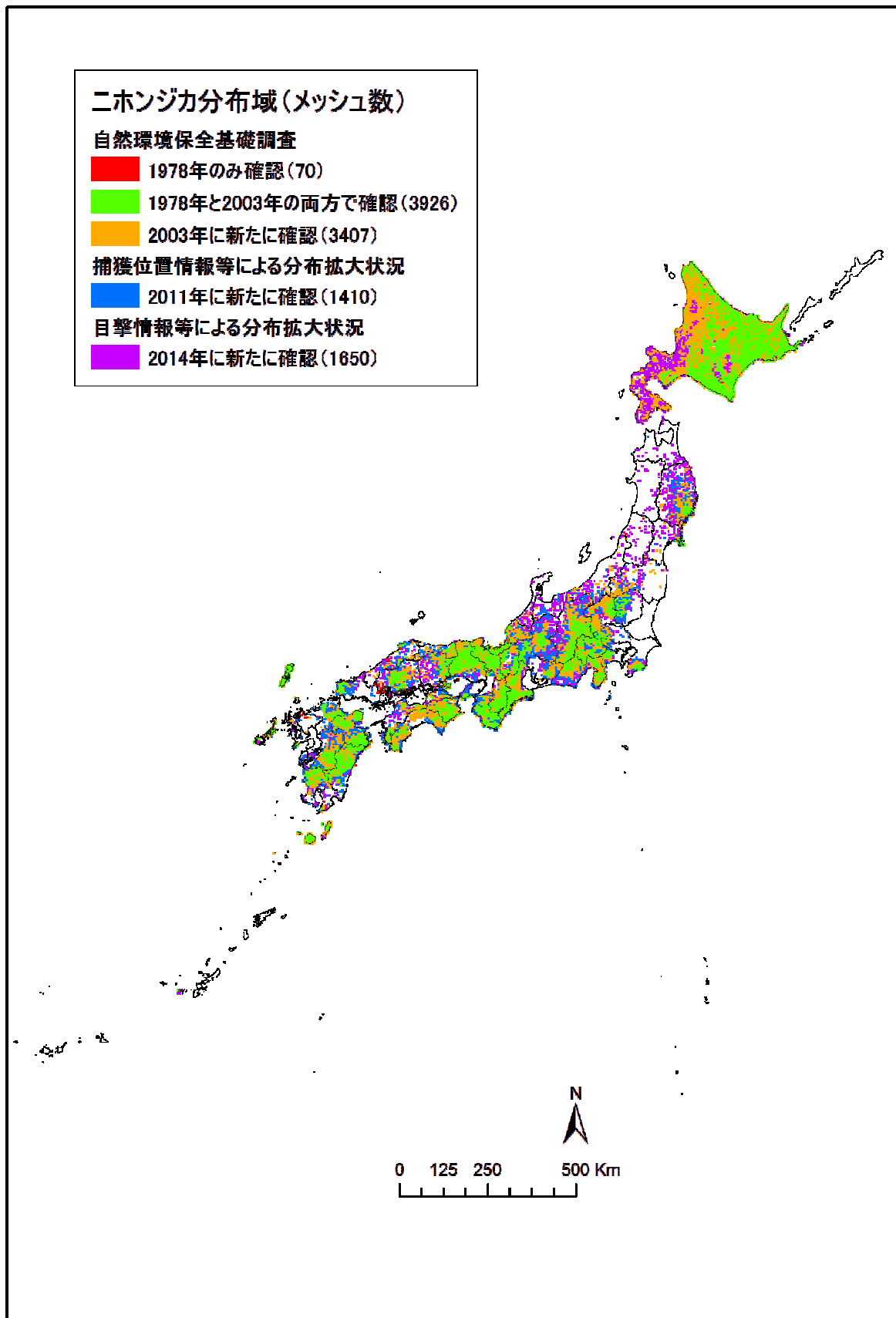


図2 イノシシ 全国生息分布メッシュ比較図

